

<用語の説明>

南蛮文化

安土桃山時代から江戸時代初期にかけて、スペイン・ポルトガルからもたらされた文化のこと。

バイオマスタウン構想

バイオマスの発生から利用まで、最適なプロセスで結ぶ総合的な利活用システムが構築された地域、またはこれから行われることが見込まれる地域をいう。バイオマスタウンを形成しようとする市町村とその地域の関係者が協力して作成し、国の合意のうえで、バイオマス・ニッポン総合戦略推進会議事務局において基準に合致しているか検討した後、公表する。天草市では、バイオマスの発生から利用までを効率的に市内で循環させ「安心して暮らせる宝の島づくり」の実現を旨として平成20年3月に公表している。

里地里山

農林業など、人と自然の長年の相互作用を通じて形成された自然環境であり、多様な生物の生息環境として、また、地域特有の景観や伝統文化の基盤としても重要な地域であるが、過疎化や高齢化などにより人為の働きかけが減少し、景観の荒廃や里山特有の動植物の衰退など生物多様性の劣化が進行しており、保全・再生が急務となっている。

環境保全型農林水産業

可能な限り環境に負荷を与えない産業活動のこと。例えば農業の場合、農業の持つ物質循環機能をいかし、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用などによる環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業のこと。

環境ビジネス

環境保全の多様化等に対応して、環境保全に役立つ商品やサービスの提供、社会経済システムを環境保全型に変えるために必要な技術の開発提供などを行うビジネス。

ゼロエミッション

工場などで排出物をゼロにすること。あらゆる廃棄物を原材料などとして有効活用することにより、廃棄物を一切出さない資源循環型の社会システム。

バイオマス

エネルギーなどとして利用することができる、生物に由来する資源。例えば、家畜せつ泄物や生ごみ、木くず、もみがら、し尿、浄化槽の汚泥など。

新エネルギー

公的には「新エネルギーの利用等の促進に関する特別措置法」(新エネルギー法)において「新エネルギー利用等」として定義され、同法に基づき政令で指定されるもののことを指す。現在、「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法施行令」により指定されている新エネルギーは、バイオマス、太陽熱利用、雪氷熱利用、地熱発電、風力発電、太陽光発電などであり、すべて再生可能エネルギーである。ただし、ほぼ日本だけで用いられる用語(分類)である。

生物多様性

もとは一つの細胞から出発したといわれる生物が進化し、今日ではさまざまな姿・形、生活様式をみせている。現在の生物がみせる空間的な広がりや変化のみならず、生命の進化・絶滅という時間軸上のダイナミックな変化を含む幅広い概念。

ISO14001

ISOとは、国際標準機構の略。環境についての国際標準化。組織(企業、各種団体など)の活動・製品やサービスによって生じる環境への影響を持続的に改善するためのシステムを構築し、そのシステムを継続的に改善していくPDCAサイクルを構築することが要求されている。

PDCA

事業活動における生産管理・品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。

<用語の説明>

パートナーシップ

関係者または関係機関が連携・協力し、これによって創出される相乗効果を通して、単独では実現困難な事業目的を効果的に達成する仕組みまたは連合体のこと。

混交林

伐採しない針葉樹(杉やヒノキ)である人工林を通常の率を超えるような間伐を実施することで、林内の照度を上げ下層に生えている広葉樹の天然更新や新たな植栽を実施する。このことによって、水の保水力や生物多様性の保全機能などの効果がみられる。

親水性

水と結びつきやすい、水に溶けやすい、また、物の表面に水が薄く広がるなどの性質を持つこと。親水空間とは、水に触れたり、接したりして水に親しむ空間のこと。親水護岸とは、水に親しむできるように配慮された護岸のこと。

原風景

人の心の奥にある原初の風景。懐かしさの感情を伴うことが多い。また実在する風景であるよりは、心象風景である場合もある。個人のものと考え方や感じ方に大きな影響を及ぼすことがある。

環境アセスメント

環境影響評価の意味。主として大規模な開発事業などによる環境への影響を事前に調査することによって、予測、評価を行う手続きのことを指す場合が多い。

エコツーリズム

自然や人文環境を損なわない範囲で、自然観察や先住民の生活や歴史を学ぶ、新しいスタイルの観光形態。

エコファーマー

農薬や化学肥料を原則的に使用せず、家畜や農作物の残さによるたい肥の施用等によって土づくりを行い、手作業や天敵の利用、機械除草などによって病害虫の管理を行う農業生産者。農薬や化学肥料等に過度に依存した近代農業によって、周囲の環境に悪影響が及ぶだけでなく、農地が本来有する生産力も損なわれることとなったことなどへの反省から、農業の本来の姿に回帰しようとする運動の中で生まれたもの。消費者の食の安心・安全への要求が高まる中で、2000年には有機農産物の日本農林規格も制定された。

コミュニティービジネス

地域(コミュニティ)などにおけるニーズや課題に対応するための事業が、コミュニティ・ビジネスである。主に地域における人材、ノウハウ、施設、資金などを活用することで、対象となるコミュニティを活性化し、雇用を創出したり人の生き甲斐(居場所)などをつくり出すことが、主な目的や役割りとなる場合が多い。さらに、コミュニティ・ビジネスの活動によって、行政コストが削減されることも期待されている。

バイオ燃料

生物体(バイオマス)の持つエネルギーを利用したアルコール燃料、その他合成ガスのこと。石油のような枯渇性資源を代替できる非枯渇性資源として注目されている。

3R

次の3つの語の頭文字をとった言葉。環境配慮に関するキーワード。Reduce(リデュース)減らす、Reuse(リユース)繰り返し使う、Recycle(リサイクル)再資源化。

菜の花プロジェクト

菜の花から菜種油をとり、菜種油使用後の廃食用油を精製して、軽油代替燃料として再利用するなど、菜の花を使って資源の循環を図る取り組み。

地域コミュニティ

地域住民が生活している場所、すなわち消費、生産、労働、教育、衛生、スポーツ、祭りなどにかかわりあいながら住民相互の交流が行われている地域社会。

<用語の説明>

物質フロー

循環型社会を構築していくために、どれだけの資源を採取、消費、廃棄しているかという「ものの流れ」のこと。

バイオディーゼル燃料

バイオディーゼルフューエルの略で、生物由来油から作られるディーゼルエンジン用燃料の総称であり、バイオマスエネルギーの一つである。

温室効果ガス

大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体の総称のこと。

リスクコミュニケーション

社会を取り巻く危険度に関する正確な情報を、行政、専門家、企業、市民など関係者で共有すること。

帰化植物

植物に属する外来種のこと。国外から入った植物の意味ではなく、人為的な手段で持ち込まれた植物のうちで、野外で勝手に生育するようになったもののこと。

造礁性サンゴ

サンゴ礁を形成するサンゴのこと。サンゴのうち石灰質の固まった骨格を持ち、ある程度以上の大きさの骨格に成長し、しかもその成長の早いものを造礁サンゴという。

藻場

沿岸域に形成されたさまざまな海草・海藻群落のこと。

生物相

特定の地域に生息・生育する生物の種類組成のこと。

グリーンツーリズム

緑豊かな農山・漁村地域において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。

ブルーツーリズム

島や沿海部の漁村に滞在し、魅力的で充実した海辺での生活体験を通じて、心と体をリフレッシュさせる余暇活動のこと。

シンポジウム

あるテーマを決めて広く聴衆を集め、公開討論などの形式で開催されることが多い。

環境マネジメントシステム

企業や団体等の組織が環境方針、目的・目標等を設定し、その達成に向けた取り組みを実施するための組織の計画・体制等のこと。

環境実態・現況の概要

<p>自然環境</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 気象 2. 地形及び地質並びに表層地層 3. 大気 4. 騒音・振動 5. 悪臭 6. 化学物質 7. 河川（水質・水量等） 8. 海域（水質等） 9. 地下水（水質、揚水量等） 10. 植物・動物・生態系 11. 景観 12. 人と自然が共生する生活空間（自然との触れ合いの活動の場等）
<p>社会環境</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置 2. 歴史 3. 行政区画 4. 人口の推移及び分布 5. 土地利用 6. 施設等整備等将来計画 7. 良好な環境が特に求められる施設 8. 交通事情 9. 各交通機関の交通量等 10. 主要産業・産業別就業人口・出荷額等 11. 環境影響を与えやすい産業 12. 環境関連の苦情・要望 13. 開発における環境配慮 14. 歴史・文化財の状況 15. 水利用の状況（用水、排水等） 16. エネルギー資源、鉱物資源 17. 廃棄物の状況（一般廃棄物、産業廃棄物） 18. CO2 排出量 19. 森林による CO2 吸収量 20. 再生可能資源（バイオマス等） 21. 物質フロー 22. 環境情報 23. 環境教育・環境学習 24. 環境ビジネス、NPO 団体 25. 環境に関する取組み、行動 26. 特産的資源

自然環境

No	項目	概要
1	気象	<p>(1)気温:天草地域の気候は西海型に分類。平成21年の天草市の年間平均気温は16.2℃、平均最低気温は、1月の2.2℃、平均最高気温は8月の31.4℃である。</p> <p>(2)降水量:平成21年の天草市の平均月間降水量は177.6mm/月、月別の降水量は6、7月の梅雨期が300mmを超える雨量である。過去10年間(平成12～平成21年)の天草市の年間降水量の平均は1857.0mmである。</p> <p>(3)風向風速:本渡地域の月別平均風速は、1.7～2.3m/sで、風向は、年間を通じて南東の風が吹き、夏季には南東寄り、冬季は北東の風の頻度が高い。牛深地域の月別平均風速は2.4～3.0m/sで、風向は季節により異なり、夏季は南西～東寄り、冬季は北北東～北東寄りの風の頻度が高い。</p> <p>(4)自然災害:台風による暴風、豪雨、高潮、津波と季節的な集中豪雨による洪水などの水害が発生している。</p>
2	地形及び地質並びに表層地層	<p>天草諸島は、主に白亜紀中期の御所浦層群、白亜紀後期の姫浦層群や古第三紀の地層で構成され、それらの下位(地下深く)には、肥後変成岩、高浜変成岩と呼ばれる変成岩類が広く分布している。</p> <p>古第三紀の砥石層には石炭層があって、19世紀初頭から20世紀にかけて天草炭田として石炭が生産されていた。</p> <p>火成岩は少ないが、天草上島の倉岳等を中心に分布するヒン岩の岩体、富岡半島(苓北町)の花崗岩や旧天草町を中心に陶石として採掘されている流紋岩の岩脈などが各地にみられる。</p>
3	大気	<p>(1)窒素(NO₂):平成21年度の天草市の二酸化窒素の環境基準の達成状況(長期的評価)は、7カ所の測定局でいずれも環境基準値の0.06ppm以下で、環境基準を達成。経年変化は、良好な状態でほぼ横ばいに推移。国道沿線における二酸化窒素は、すべての調査地点で環境基準を達成している。</p> <p>(2)二酸化硫黄(SO₂):平成21年度の天草市の二酸化硫黄の環境基準の達成状況は、5カ所の測定局でいずれも環境基準値の0.04ppm以下で、環境基準を達成しており、経年変化は、いずれの観測局も、多少の増減はあるものの、良好な状態でほぼ横ばいに推移している。</p> <p>(3)浮遊粒子状物質(SPM):平成21年度の天草市の浮遊粒子状物質の環境基準の達成状況(長期的評価)は、7カ所の測定局でいずれも環境基準値の0.1mg/m³以下となっており、環境基準を達成している。浮遊粒子物質は良好な状況。国道沿線における浮遊粒子状物質(SPM)は、すべての調査地点で環境基準を達成している。</p> <p>(4)光化学オキシダント:平成21年度の天草市の光化学オキシダントの状況は、0.06ppmを越えた日数が県平均を上回っている。昼間の一時間値の最高値が0.123ppmであり、環境基準を満たしていない。</p> <p>(5)近隣の苓北町の観測所では酸性雨の目安であるpH5.6を下回っている。</p>
4	騒音・振動	<p>(1)騒音:市街地には、工場や事業所が立地しているが、これらからの騒音被害はほとんどない状況である。騒音調査の結果、天草信用金庫前(太田町・国道324号線)、亀場幼稚園前(亀場町・国道266号線)、道の駅有明付近(有明町・国道324号線)、リック横田(河浦町・国道266号線)で自動車の交通量が増加する時間帯に環境基準を超えている。</p> <p>(2)振動:市内では、振動規制法に基づき、振動の規制を行っている。全市的には、苦情も少なく良好な状況である。</p>
5	悪臭	<p>特に生活環境に大きな影響を与える問題は発生しておらず、良好な状況である。しかし、一部の地区で、家畜の臭いに対して苦情がある。</p>

No	項目	概要
6	化学物質	<p>ダイオキシン類の状況は、平成 16 年度までは県下各市(旧本渡市、牛深市)の定点調査が行われていたが、平成 11 年度から平成 16 年度までの6年間とも環境基準を下回っている。</p> <p>直近の調査として平成 20 年度に楠浦小学校で測定され、夏季・冬季二回の平均は 0.018pg-TEQ/m³ で環境基準を下回っている。</p> <p>平成 21 年の4カ所の市内ごみ焼却場の燃焼排ガス中のダイオキシン濃度は、いずれの焼却施設も環境基準以下の値となっており、良好な状況である。</p>
7	河川(水質・水量等)	<p>河川の水質観測は、平成 21 年度に熊本県が3河川3地点、平成 20 年度に本市調査による 46 河川 62 地点で実施している。</p> <p>環境基準点は、亀川に1地点、広瀬川に1地点、一町田川に1地点で、いずれもA類型(BOD:2mg/L)に指定され、各河川とも近年は環境基準を達成しており、良好な状況である。</p> <p>環境基準点以外の市内 46 河川 62 地点では、A 類型(BOD2mg/L)を基準とすると、8地点のみがこれを上回っており、特に河浦地域では、BOD 値が 0.5%未満の河川で占められており、これらの地域の水質は良好である。一方、本渡地域では、A 類型の環境基準値を上回っている調査地点が多い傾向にある。</p>
8	海域(水質等)	<p>環境基準点は、有明海に2地点、八代海に4地点、天草西海に1地点の合計7地点である。</p> <p>有明海の2地点、八代海の3地点、天草西海の1地点については、過去3年間はいずれも環境基準値を下回っており良好な状況である。</p> <p>八代海の1地点では平成 19 年度に環境基準値を上回ったが、その後、2年間は環境基準を下回っている。</p> <p>有明海では、CODや全リンについては生活系の占める割合が大きく、全窒素については畜産系の占める割合が大きくなっている。八代海では、CODや全リンについては養殖系の占める割合が大きく、全窒素については土地系の占める割合が大きくなっている。</p> <p>海水浴場の状況は、平成 21 年度はすべての海水浴場で1年を通じて良好な状況で、水質判定は「適」と判定されている。</p>
9	地下水(水質、揚水量等)	<p>地下水盆とかんよう域:現在把握している地下水については、佐伊津町から五和町御領にかけて小規模の地下水盆があり、ここの帯水層は深いところでは 150m に達すると推定されている。地下水は、五和地域の城木場付近でかんようされ、東の御領から佐伊津にかけての海岸部に向かって流れている。地下水位は、夏季の生活・農業系揚水量が増加する時期に水位が下がる傾向にある。</p> <p>地下水質の測定結果:平成 21 年度の調査では、汚染地区調査の本渡町でテトラクロロエチレン、有明町・天草町の2地点で硝酸性窒素や亜硝酸性窒素が、栖本町・天草町の2地点でヒ素が、河浦町の2地点でフッ素がそれぞれ環境基準値を上回っている。定点監視調査の栖本町でヒ素が環境基準値を上回っている。</p>
10	植物・動物・生態系	<p>(1)植物:本市は自然林が少なく、全体的にスギ・ヒノキの植林や二次林などの森林で、自然林は福連木国有林に残っているだけで、チャンチンモドキ、フクレギシダ、ヒメノコギリシダなどの珍しい種が見られる。自然植生は、下島南西部の東シナ海に面した崖地にオニヤブソテツ・ハマビワ群集が生育しているほか、面積は小さいが下島角山のイチイガシ群集、牧島などのミズバイースダジイ群集、上島龍ヶ岳のウバメガシ・シートベラ群集なども生育している。また、ヘゴ自生地(河浦町)やカノコユリ自生地を見ることができる。また、牛深の海岸では、亜熱帯の島々の海岸で多く見られるハマユウ、ハマナタマメ、グンバイヒルガオなどを普通に見ることができる。</p>

No	項目	概要
10	植物・動物・生態系	<p>(2)動物:天草地域は、自然豊かな変化に富んだ多様な海岸や海域環境からなり、多種多様な動物が生息している。ほ乳類はノウサギが生息していないなど、島という地理的理由から、ほ乳類が極端に少ない傾向である。鳥類は、九州本島沿岸では見ることが少ない海洋性の鳥類が多く生息しており、旅鳥の貴重な中継地にもなっている。また、海洋生物として過去にアカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの3種が確認されているが、このうちアカウミガメは天草地域の海岸を産卵場所に利用している。本渡干潟(砂干潟)では、ニンジンイソギンチャク、ツバサゴカイなどの貴重な生物が豊富である。天草外海に関しては、対馬暖流に育まれて、亜熱帯性の魚やサンゴと共生する生物が多数生息している。天草地域には世界の造礁性サンゴの12%強にあたる100種ほどが生育し、海域では近年、有明海や八代海の両海域における大規模な赤潮の頻発により大きな漁業被害が生じている。身近な河川では、田園・山間部で、農薬の使用規制などによりゲンジボタルが増えている。一方、山間部を中心に、イノシシによる作物被害が深刻な状況である。</p>
11	景観	<p>本市は、雲仙天草・国立公園に位置しており優れた景観を有しており、保護計画を設けてこれら景観の保護に努めている。市街地等でも公園や河川、道路の整備などハード事業における景観整備を進めるとともに、住民みずからが主体となり、積極的に取り組んでいける景観形成の体制づくりに取り組んでいる。また、菜の花プロジェクト等の花づくり、緑化保全の推進など、全市的な景観形成を推進している。</p> <p>市民の意見には、緑とのふれあいの多さや自然景観の美しさに多くの支持がある。しかし、まちの清潔さやまちなみの美しさに満足している人はやや少ない。また、自然とのふれあいの場の減少を感じている人からの指摘も多い。</p>
12	人と自然が共生する生活空間(自然との触れ合いの活動の場等)	<p>(1)公園などの触れ合いの活動の場:緑豊かなまちづくりを目ざして、生け垣や住宅敷地などの緑化を推進している。公園の整備は充実しており、都市計画区域人口1人当たりの公園面積は14㎡(平成20年)で、国の標準面積10㎡を満たしている。</p> <p>(2)共生による森林の多様な機能の発揮:本市の森林も木材などの林産物を生産するだけでなく、水源のかん養、山地災害の防止、レクリエーションの場の提供、野生生物の生存の場など豊かな命を育む機能を有し、また、二酸化炭素の吸収固定の機能も有している。しかし、近年は、外国産材の輸入などによる木材価格の低下、住宅着工の減少などにより、林業・木材産業の経営環境は厳しく林業離れも加速しており、森林の多様な役割りと機能を維持することが困難になっている。</p> <p>(3)共生による里地里山の保全と活用:近年の社会経済や生活様式等の変化に伴い、二次林や草地の経済的利用価値が低下したことに加え、農業の採算性の低下、林業生産活動の停滞などから二次林や農地が放置されるケースが増加し、市街地の近郊では、残された二次林などが宅地、道路などの開発の対象となる場合が見られるなど、里地里山の存続が危ぐされている。</p>

社会環境

No	項目	概要
1	位置	<p>天草市は、熊本県南西部に位置し、周囲を東シナ海、有明海、八代海に囲まれた天草諸島にある。</p> <p>地理的な条件から、福岡・長崎・熊本・鹿児島を結ぶ九州西岸地域の拠点として発展が期待されている地域である。</p> <p>気候は、暖流の影響で、冬は暖かく、夏は比較的涼しい海洋性の気候になっている。</p>
2	歴史	<p>古くから朝鮮半島や中国大陸との交易が盛んであった。</p> <p>キリスト教が、永禄9年(1566年)天草にもたらされ、「天草五人衆」と呼ばれる領主、志岐氏、天草氏、大矢野氏、上津浦氏、そして栖本氏により天草各地に普及、キリシタン大名小西行長が天草を治めるころには、天草におけるキリスト教は全盛を迎え、わが国におけるキリシタン文化などの情報発信地としての役割を果たしていた。</p> <p>江戸幕府は過重な年貢の取り立てに加えて、厳しいキリシタン弾圧に耐えかねた領民は天草・島原の乱を起こした。</p> <p>明治時代になると、天草は長崎府へ併合され、廃藩置県により八代県天草郡となり、その後、白川県天草郡との改称を経る。</p> <p>平成18年(2006年)3月、2市8町が合併し、新しく天草市として発足した。</p>
3	行政区画	<p>本渡、牛深、有明、御所浦、倉岳、栖本、新和、五和、天草、河浦の旧市町からなる。</p>
4	人口の推移及び分布	<p>天草市の人口は、年々減少傾向にあり、平成17年10月1日現在で、男性44,606人、女性51,867人、合計96,473人で、同12年と比較すると、6,434人の減少である。</p> <p>世帯数はほぼ横ばいで推移しており核家族化の傾向。</p> <p>平成12年と同17年の年齢階級別の人口構成を比較すると、20歳以上の人口の比率は79.6%から81.7%に増加し、一方、20歳未満の人口の比率は20.4%から18.3%に減少、65歳以上は平成12年が全体の27.9%に対し、同17年は30.9%に増加している。</p> <p>低年齢層が減少し、高齢層が増加しており、少子高齢化の進行が顕著である。</p>
5	土地利用	<p>熊本県内の市町村の中で最大の面積を誇り、その総地目別土地面積は、68,324haである。</p> <p>平成20年の土地利用状況は、最も多い地目が山林で市全域の68.0%、次いで田(4.9%)、畑(4.0%)、道路(3.6%)、宅地(2.7%)の順である。</p> <p>居住地域については、本渡地域と牛深地域の一部に市街地があり、ほかの地域は集落が点在している状況である。</p>
6	施設整備等将来計画	<p>これまで廃棄物として処分されていたし尿・浄化槽汚泥の処理を、バイオマスタウン構想によって未利用バイオマスの利活用という視点に切り替え循環型社会を形成するため、これらを受け入れるバイオマスセンターの建設を計画している。</p>
7	良好な環境が特に求められる施設	<p>自然環境との共生が特に求められる施設としては、リップルランドをはじめとした観光施設があげられる。</p> <p>各地区振興会における調査によると、良好な環境が特に求められる施設としては、公園、教育施設などの施設となっている。</p>

No	項目	概要
8	交通事情	<p>(1)道路:天草市には鉄道がなく、道路交通が主要な交通機関である。道路実延長の推移は、多少の増減はあるものの、ほぼ横ばい傾向である。自動車保有台数(2輪含む)は増加傾向で、1世帯あたり1.5台以上の自動車を所有していることになり、市民の移動手段として自動車が欠かせないものとなっている。公共バスは天草市内で運行されるものと、熊本市や熊本空港を結ぶものがある。</p> <p>(2)空路:天草空港は県営空港として平成12年3月に開港し、10周年を迎えた。運航には、39席のコミューター機が使われ、天草-福岡間を35分、天草-熊本間を20分、熊本-大阪(伊丹)間(同22年12月就航)を約85分で結んでいる。現在1日あたりの便数は、天草-福岡便が3往復、天草-熊本便と熊本-大阪便が1往復となっている。平成21度の全体の平均利用率は53.8%となっている。</p> <p>(3)海運:海上交通は、各地域に拠点が設けられ、本渡港では、本渡-三角間を57分で結ぶ天草宝島ラインが運航している。牛深港や五和地域の鬼池港は鹿児島-熊本-長崎を結ぶ中継地点で、鹿児島、長崎方面のフェリーが運航している。また、御所浦地域は離島であるため、海上交通は最も重要な交通手段で、天草本島へ向かう定期船やフェリー、海上タクシーが日々運航している。</p>
9	各交通機関の交通量等	自動車の交通量は、騒音の項で示す。天草空港月別利用率は交通事情の項で示す。
10	主要産業・産業別就業人口・出荷額等	<p>(1)産業別従業者数:平成17年の産業別従業者数の推移は、第3次産業の従業者が全体の約64%を占めており、本市の主要な産業である。経年的に産業を見てみると、第1次産業の従業者数は減少傾向、3次産業は、平成12年までは増加傾向だが、同17年には減少に転じた。</p> <p>(2)農業:平成17年の生産農家数は、専業農家700戸、兼業農家2,630戸(第1種、第2種兼業を含む)、総農家数は3,330戸である。この数は、昭和60年の総農家数と比較すると、1/3以下となっている。</p> <p>(3)林業:林家数は、平成12年は4,145戸。</p> <p>(4)水産業:水産資源豊かな好漁場に囲まれ、中でも牛深地域は県内最大規模の漁港を有する。また、天草の恵まれた地形と海況をいかし、タイ・ブリ・フグといった養殖が行われている。漁業経営体数の推移は、昭和58年2,583体、平成20年1,379体と約47%減少している。漁業種別では「釣り」が最も多く、「刺網」「海面養殖」と続いている。</p> <p>(5)工業:製造業の総出荷額(平成20年現在)は297.1億円で、このうち「食品製造業」が全体の46.7%を占め、以下「電気機械器具製造業」19.6%、「繊維工業」10.4%。従業者数・事業所数の経年変化を見てみると、従業者数・事業所数共に減少傾向にある。</p> <p>(6)商業:平成18年現在の商店数は1,815店、従業者数は7,946人。商店数は減少傾向で、従業者数は、ほぼ横ばいに推移している。小規模な商店が減り、大規模な店舗が増えている。</p> <p>(7)観光・レジャー:天草西海岸の景観や御所浦の恐竜化石、五和のイルカウォッチングに代表される豊かな自然、切支丹館や大江・崎津の二つの天主堂に代表されるキリシタン文化や歴史、ハイヤ踊り等の伝統芸能、世界的に有名な天草陶石を使った陶磁器や新鮮な海の幸等、多種多様な観光資源に恵まれている。平成21年の観光客は、宿泊客286,231人、日帰り客2,443,145人、合計2,729,376人である。</p>

No	項目	概要
11	環境影響を与えやすい産業	<p>大気に関しては、ばい煙や粉じんの発生施設に届け出義務を課し、その施設から排出されるばいじんや窒素酸化物などの排出量の規制を行っており、平成 22 年末現在の届け出状況は、ばい煙発生施設が 103 施設、一般粉じん発生施設が 17 事業場、33 施設となっている。</p> <p>平成 21 年度末現在の騒音規制法に基づく届出総数は、372 事業場、677 施設で、同 21 年度の特定建設作業の届け出総数は、45 件となっている。平成 21 年度末現在の熊本県条例に基づく特定施設の届出総数は、509 事業場、1,097 施設。平成 21 年度の特定建設作業の届け出総数は、26 件となっている。</p> <p>平成 21 年度末現在の振動規制法に基づく特定施設の届出総数は市内で 36 事業場、56 施設で、同 21 年度の特定建設作業の届け出総数は、10 件である。</p>
12	環境関連の苦情・要望	<p>地区振興会に対する調査では、「不法投棄」、「ごみのポイ捨て」、「ペット」、「イノシシによる作物被害」、「景観管理」、「公園、下水道等公共施設の管理」、「海岸の漂流物」、「外来種」、「悪臭」、「自家焼却、野焼き」、「家庭ごみ分別」、「ごみ出しルール」、「漁港用地、漁業関係施設等の維持管理」の環境に関する苦情が見られる。</p>
13	開発における環境配慮	<p>大規模開発事業は、土地の改変や構造物の建設などを伴う場合、自然環境・生活環境に大きな影響を及ぼす恐れがあり、その計画・設計・施工に当たっては、環境に十分配慮していく必要があるが、独自の環境アセスメントや環境配慮のためのガイドラインについては未作成である。</p>
14	歴史・文化財の状況	<p>市内の文化財は、国指定6件、国選定1件、国登録7件、県指定 23 件、市指定 164 件、の合計 201 件。区分別では、有形文化財が 93 件、民俗文化財 19 件、記念物 88 件、重要文化的景観1件。</p>
15	水利用の状況（用水、排水等）	<p>(1)水道施設状況、下水道等の概況 平成 21 年度現在の本市の水道施設や下水道などの現況は、水道の普及率 92%、下水道などの普及率は 35.27%である。</p> <p>(2)生活排水処理の状況 本市の生活排水は、主に下水道などと浄化槽で処理されている。 下水道などや浄化槽の整備により、未処理の生活排水処理人口は年々減少しており、平成 10 年度の 78,570 人が同 21 年度には 45,221 人になっている。</p> <p>(3)下水道等 1)下水道事業の概要:下水道事業は昭和 47 年に認可を得て事業着手し、下水の排除方式は、家庭などから汚水と雨水を別々の管で流す分流方式(一部合流方式あり)と漁業集落、農業集落では、異なった排水処理計画となっている。 2)下水道の整備状況:下水道の処理区域面積や普及率(処理区域内人口/行政人口)は、全体的に増加傾向で、平成 21 年度現在の、処理区域内人口は 26,990 人、普及率は 28.99%となっている。</p> <p>(4)生活排水処理施設:市内の下水道処理区域外や集落排水処理区域外の生活排水は浄化槽で処理している。昭和 63 年から整備が進められ、浄化槽の設置数や処理人口はともに順調に増加している。平成 21 年度現在、浄化槽は 5,601 基が設置され、その処理人口は 19,644 人となっている。</p> <p>(5)し尿処理の状況:搬入量について、し尿と浄化槽汚泥の総量は、微減傾向で推移している。全体のし尿処理に対する浄化槽汚泥の割合は、浄化槽の普及を反映して、増加している。平成 21 年度の搬入量は、し尿 18,833kl、浄化槽汚泥 30,304kl となっている。</p> <p>(6)温泉等の水資源:下田温泉をはじめ、牛深、有明、栖本、五和、河浦、にも温泉があり、町内外の人々に利用されている。</p>

No	項目	概要
16	エネルギー資源、鉱物資源	<p>(1)電力使用量:近年の天草地域の電力使用量は横ばい傾向で、平成20年度の年間電力使用量は423,537,611kWhとなっている。</p> <p>(2)都市ガス使用量:都市ガスの使用量は増加傾向であったが、近年は横ばいで推移し、平成20年度では年間約150万m³を使用している。</p> <p>(3)LPガス使用量:平成20年度に約276万m³を使用している。</p>
17	廃棄物の状況(一般廃棄物、産業廃棄物)	<p>一般廃棄物排出量は、平成9年度にごみ袋有料化の直後、一時的に減少したものの、その後は増加傾向で、現在では有料化前と同じ排出量に戻りつつあり、平成21年度は約32,351t(市及び広域連合の処理施設以外で処理した資源物(2,909t)を含む。)となっている。</p> <p>一般廃棄物の約7割強は、燃やせるごみ、燃やせないごみは約10%、残りが資源物である。</p> <p>中間処理は、牛深クリーンセンター、御所浦クリーンセンター、西天草クリーンセンターで、燃やせるごみ21,880tが焼却され、燃やせないごみ2,670tが破碎・選別され、資源物は4,450tである。</p> <p>最終処分量は29,000tで、牛深一般廃棄物最終処分場(管理型)の残余容量が24,580m³、御所浦一般廃棄物最終処分場(管理型)の残余容量が200m³となっている。</p> <p>資源物は、容器包装リサイクル法の施行により平成13年度からペットボトル、発泡スチロール(食品用トレイ、箱類)、ポリ製包装・袋類を加え、8品目を資源物として収集し、現在は、同22年度から蛍光管を加え17品目を収集している。</p> <p>し尿処理状況は、し尿と浄化槽汚泥を合わせた総量は年によって増減し、合併浄化槽の普及に伴い浄化槽汚泥が増加している。平成21年度のし尿及び浄化槽汚泥は49,137klである。地区ごとに処理施設、処理方法が異なっている。処理施設は本渡衛生センター、牛深し尿処理場、牛深し尿処理場浄化槽汚泥処理施設、上天草衛生センター、脱水・焼却、堆肥化して農地還元の処理方法で、一部は下水道へ投入している。</p> <p>廃棄物に関連する市民アンケートの結果では、「リサイクル等のごみの減量化」に対する環境対策や環境配慮活動への市民意識は高く、今後優先的に取り組む事業として関心も高くなっている。</p>
18	CO2排出量	<p>CO2排出量は、489,000t-CO2の排出と試算、その内、家庭部門の占める割合が22%、運輸部門(自動車・鉄道・船舶)が28%、産業部門(製造業・建設業・鉱業・農林水産業)が25%、業務部門(旅館等・事務所・銀行・店舗・病院)が24%、廃棄物部門(一般廃棄物のみ)が1%となっている。</p>
19	森林によるCO2吸収量	<p>本市の土地利用状況で最も面積の割合が大きい地目が山林で、本市全体の約68%となっている。</p> <p>森林による二酸化炭素吸収量(t-C) = 森林の成長による吸収量 - 森林の伐採による排出量 = [森林の成長量(m³) - 森林の伐採量(m³)] × 炭素含有率(0.5) × 容積密度数(0.45(t/m³))</p> <p>天草市の森林蓄積量 = 9,488,189 m³(熊本県林業統計要覧平成20年版) 森林による二酸化炭素吸収量(t-C) = 9,488,189 m³ × 0.5 × 0.45t/m³ = 2,134,820(t-C)</p>

No	項目	概要
20	再生可能資源(バイオマス等)	<p>「天草市バイオマスタウン構想」では、本市のバイオマス賦存量は、全体で 234,544t、家畜排せつ物が全体の約 54%、次いで下水汚泥、し尿の順となっている。</p> <p>現在の全体の利用状況は、賦存量の 72%の 169,203tが利用(仕向)され、家畜排せつ物が全体の約 70%。家畜排せつ物は、主に堆肥化されて販売・農地還元という利用方法である。</p> <p>バイオマス目標利活用量は、賦存量 234,544tのうち、約 96%にあたる 225,487tとなっている。</p> <p>今後の新たな変換・処理方法や量は、家畜排せつ物ではペレット肥料化が 6,994t、生ごみでは事業系生ごみの飼料化が 1,323t、家庭系生ごみのメタン発酵が 756t、し尿・浄化槽汚泥・集落排水汚泥ではメタン発酵で 40,104t(目標利用全量)、稲わら・もみ殻・麦わら林地残材やせんてい枝については堆肥化が 4,812tとなっている。本市では資源の循環利用の一つとして、菜の花プロジェクトが菜種油と食用油の再利用の取り組みとして進められている。</p>
21	物質フロー	<p>本市の物質フローの推計によると、一年間に 86.9 万トンの資源を投入して 41.7 万トンの財を生産、また、この財生産のために 22.3 万トンのエネルギーを消費し、2.4 万トンの有価副産物と 20.4 万トンの産業廃棄物を排出。これら有価副産物や産業廃棄物のうち 12.9 万トンは再生資源として循環利用され、4.1 万トンは堆肥などとして土壌に還元。また、再生資源のうち 1.0 万トンは輸出(移出)されている。</p> <p>生産された 41.7 万トンの財の一部 6.0 万トンは輸出(移出)、残り 35.6 万トンは国内に出荷され、これに輸入(移入)製品 2.0 万トンを加えた 37.6 万トンが財消費である。この結果、37.6 万トンの一部は費消するが、26.7 万トンは道路、橋、建築物、生産設備、耐久消費財などとして国内(市内)に蓄積され、どうしても有効利用できない廃棄物 1.5 万トンが最終処分(埋立など)されている。(「日本のマテリアルバランス 2005」をベースに推計)</p>
22	環境情報	<p>一部の公民館には、住民が気軽にインターネットなどを使用できる住民開放用パソコンが設置されているが、ハードやソフトの整備は充分とは言えず、住民からの環境情報の整備の要望も多い。</p>
23	環境教育・環境学習	<p>(1)体験、見学、宿泊施設:本市は優れた自然環境を有している地域で、多くの体験施設、見学施設、宿泊施設があり、環境教育・学習に適している。市民からは、もっと環境教育・学習を推進してほしいなどの意見がある。</p> <p>(2)児童、生徒数の概況:平成 22 年の小学生は 4,717 人、中学生は 2,688 人である。これを昭和 60 年と比較すると、小学生は 4,927 人、中学生は 2,429 人減少している。</p>

24	環境ビジネス、NPO 団体	地域や地球環境問題への意識が広がる中、消費者は環境にやさしい商品や企業を積極的に支持する傾向にあり、環境にかかわりの少なかった企業も、ISO14001 の認証取得をはじめ、リサイクル運動や環境保護団体への協力など、何らかの形で環境保全（保護）にかかわり、消費者や顧客へアピールしている。
25	環境に関する取り組み、行動	<p>地域住民に密着している各地区振興会では、住民とともに EM 菌を利用した河川浄化活動、道路沿道の清掃活動・美化・緑化活動が行われているが環境に関する地域のリーダーが不足している。</p> <p>事業者に対する環境に関する取り組み、行動のアンケート結果から、環境に関する考えは「企業の社会的責任（CSR、社会貢献を含む）の一つである」が全体の 75% と高いが、節水などの一部の項目を除き、実際の環境に関する活動の取り組み状況は活発と言えない。その原因として、環境行動にあてる資金不足、人材不足などがあげられる。</p>
26	特産的資源	農産物やその加工品等の特産品等は、市外の市場と市内の直売所などに出荷し販売されている。

地区振興会ごとの「現況・課題」からの「環境方針・目標・方策」の概要

本編第5章に掲載している地域（6ゾーン）の詳細を、各地区からの「現況・課題」から「環境方針・目標・方策」を導きました。旧市町単位ではないため、各旧市町における取り組みは考慮していません。

1. 機能拠点ゾーン

まちづくりの方向	振興会	現況と課題	環境方針	目 標	方 策
政治・経済・文化の中心としてのまちづくり	本渡南	天草市の海の玄関として本渡港を観光港とした整備や、環境に配慮した近隣の海浜公園化、ヨット・レジャーボートの係留設備、観光魚市場などの一体化整備が求められています。	海の玄関口としての本渡港の環境整備と海に接続する河川環境の改善	本渡港や町山口川上流の水質改善と身近な生活環境の再認識	生活・事業所系排水改善への住民意識の向上、過去に整備された河川沿いや十万山の自然環境を見直す機会をつくる。
	本渡北	広瀬川などの河川を中心とした生態系の回復、南蛮文化・キリシタン文化の雰囲気醸し出す街並みの創造が求められています。	地域が一体となった水と緑の輝く環境にやさしい地域づくり 地域特有の雰囲気を醸し出す街並みの創造	環境保全活動の継続や環境学習会の更なる推進 蛍が乱舞する河川とわくわく児童館を始めとする住民の交流空間づくり	ごみ減量のため、ダンボールコンポストを普及、取り組みに伴う地域が一体となった意識の向上 各種団体による清掃活動の継続と花壇などの街並み整備
	亀場	亀川の景観と水質保全のため、清掃活動が行われている。河川沿いの環境整備による環境学習の場が求められています。	清掃活動などの継続による亀川の河川環境の向上と触れ合いの場の創造や景観整備の推進	歴史・文化が見える街並みの創出 亀川の景観と水質保全	住民などが利用しやすい河川沿いの環境整備 生活・事業系排水改善、川と海の清掃活動の継続
	志柿	国道沿いのごみのポイ捨て防止。各家庭でのEM菌培養液の利用推進による川・海などの水質改善が必要です。	ごみのポイ捨てへの啓発や各家庭によるEM培養液による水質改善	ポイ捨て防止の徹底 河川の水質改善	ポイ捨て防止の啓発と監視の強化 EM培養液の無料配布の継続による各家庭からの水質保全
	下浦	山間部の農地が荒れイノシシが増加している。また、河川などへのごみの投棄や野焼きが行われている。一方で、住民による地域の清掃や花いっぱい運動を行うとともに、伝統料理の継承や文化財の保存が課題です。	校区活性化推進協議会などを中心とした、清掃ボランティアによる河川・海域の環境保全とイノシシ被害対策の推進	イノシシによる農作物への被害防止 河川の水質改善	耕作放棄地の有効利用による環境保全とイノシシ侵入防止対策の強化 生活系・事業所系排水改善、川と海の清掃活動の継続
	楠浦	文化財の保全と周辺の整備活用が求められています。	文化財などを利用した歴史的雰囲気の創出	歴史的雰囲気を創出する文化財などの利用	文化財の保全活動と、これらを利用した歴史的雰囲気の創出
	佐伊津	地下水の塩水化の防止と、地下水量・水質の回復が重要な課題です。	地域が一体となった地下水の持続的活用の推進	地下水の水質・水量の持続的活用	地下水の水質・水量モニタリング、生活・事業系の地下水節水と環境学習による住民の意識啓発

2. 有明海ゾーン

まちづくりの方向	振興会	現況と課題	環境方針	目 標	方 策
天草の玄関口として、交流をテーマにしたまちづくり	御領	ごみのポイ捨てなど、身近な事から啓発活動を行い、現在の自然・歴史（御領の原風景）をそのまま将来に継続できる仕組みづくりが必要です。	御領の原風景（自然・歴史）をいかした景観づくり	自然の原風景をいかした景観づくり	ボランティア美化活動の継続と遊休農地をいかした景観作物の栽培
	鬼池	生活廃水等による川の水質低下や、池田（ため池）の水質等が悪化しており、以前から生息しているメダカやホタル、カメなどの生物が少なくなっています。現在、河川・海岸の清掃やEM菌を使用している水質浄化を地区活動として行っているため、この活動をより一層広め、環境保全に努めていきます。	環境と人にやさしい、天神山とウミガメの里づくり	環境のシンボルであるメダカやホタル、アカウミガメの保全	ふれあい活動や観察会への参加の推進、住民生活や観光などとの共生の施策検討、河川や海岸の清掃やEM菌を使用している水質浄化
	二江	水や水辺とのふれあいや自然景観の美しさが低下し、生活廃水等により排水溝から悪臭がしたり、以前からいたテナガエビやホタルなどが減少しており、現在、河川や海岸の清掃とEM菌培養液を使用	ミナミハンドウイルカと共生できる自然・生活環境づくりと観光産業の再整備	イルカとの共生	ごみ減量化を念頭に置いたイベント開催。イルカウォッチングは海の豊かさや環境保全のシンボルであり、通詞島を環境や人にやさしい癒しの島として定着させる

天草の玄関口として、交流をテーマにしたまちづくり	二江	しての水質浄化が地区活動として行われています。この活動の一層の拡大に努め、イルカウォッチングが将来も継続できる、イルカを中心とした生態系の確保を陸海域が一体となって推進することが不可欠です。			
	手野	ごみのポイ捨てなど、身近な所から清掃・啓発活動を行うとともに、継続的な内野川沿線の河川環境の維持と景観づくりを地域の環境活動としながら、住民意識の向上を図っていきます。	郷土愛による環境への取り組みを継続し美しい農村環境のよりよい次世代への継承	上流域としての流域全体への環境配慮の徹底	内野川沿線のツツジの継続管理と「柿」の植栽による新たな景観づくりと環境活動への住民一人ひとりのさらなる意識向上
	城河原	ホテルを通して、地域づくり活動が展開されており、このすばらしい環境を保全・維持していくためには、EM菌の普及活動や河川の清掃活動を実施していくことが不可欠であり、さらに地域住民が一体となって環境活動に取り組んでいくことが重要です。また、ホテルが減少しているため、ホテルの専門的研究や増加方策を考えていく必要があります。	ホテルの里できらめくまちづくり	ホテルの住みやすい環境の確保	EM菌による河川の浄化活動の継続、ふれあい活動や観察会への参加の推進、河川の清掃活動、ホテルの専門的研究や増加方策の検討
	有明地区(楠浦、大浦、須子、赤崎、上津浦、下津浦、島子)	歴史・文化的資源の活用。河川のクリーン作戦などによる水質の保全とイノシシによる農作物の被害が年々多くなり、特に、デコポンや水稲などへの被害が多くなっています。農家は、その対策として電気牧柵などを施していますが十分ではなく、対策に苦慮しています。	歴史・文化的資源の再認識と水資源の保全及びイノシシ対策などの実施と荒廃農地の解消	歴史・文化的資源の活用 水資源の保全 イノシシによる農作物への被害防止	公民館活動などによる家族参加型の歴史探訪を実施 水については「水に感謝する日」などを設け、住民みんなで水を守る気持ちを啓発する イノシシの侵入防止と捕獲対策などの強化

3. 八代海ゾーン

まちづくりの方向	振興会	現況と課題	環境方針	目 標	方 策
グリーンツーリズム・ブルーツーリズムを中心としたまちづくり	栖本	河内川の水は住民の飲用水や農業用水として利用され、また、水棲生物にとっては命の源となっています。海については、家庭排水等の流れ込みや、養殖などが盛んなこともあり、年々、水質の悪化が懸念されています。	「河童がすめる川」を目ざした河川・海域の環境保全の取り組み	河内川、海域の環境保全の推進	栖本中学校との連携による「川づくり河童隊」の活動など地域一体となった環境活動の継続、住民の環境保全への意識の共通化
	浦	絶滅危ぐ類「ヒモヅル」や名桐古墳群等の環境を保全するとともに、毎年地域を上げての「ぞろりんピック」「夏祭り」「秋祭り」など、地域の連携がひととき目を引くところです。山野付近にはイノシシが多く生息し、農作物の被害が多発しており、農作物の被害と豊かな資源を守るため、地域全体での対策が必要です。	絶滅危ぐ類「ヒモヅル」と名桐古墳群などの保全、イノシシ対策と花と緑と人づくり、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくり	絶滅危ぐ類「ヒモヅル」の保全 名桐古墳群などの保全 イノシシによる農作物被害の軽減	生育環境の改善・修復、ふれあい活動や観察会への参加の推進 古墳群の修復、活用の検討、地域資源としての情報発信の推進 イノシシの侵入防止と捕獲対策などの強化
	棚底	点在する石垣群は、日本でほとんど類例がない貴重な集落景観で、国指定史跡である棚底城跡は貴重な遺跡として保全する必要があります。現在、棚底地区振興会を中心に文化財などの散策が行われており、文化財マップ作りを検討しています。棚底港は御所浦町への定期船の主な発着場所、御所浦町の玄関口となっていますので、これらの集落景観などの文化財を、御所浦町へ向かう観光客へアピールすることも必要です。	点在する石垣群などを活用した観光客誘致と高齢者が健康で住みやすいまちづくり	棚底城跡や全国的にも珍しい石垣群の保全と観光客誘致	地域資源としての情報発信の推進、受け入れ体制の構築

グリーン ツーリズム・ブルー ツーリズムを中心とした まちづくり	宮田	「えびす祭り」「えびすマラソン大会」などが開催されていますが、観光客を呼び込む手段も今後さらに重要と考えられます。環境面では三方張りの河川を改修して、魚などが住めるきれいな川を取り戻すための環境整備を図るとともに、荒地や休耕田を利用して、景観作物の作付けや採種油の利用を推進していきたいとの考えを持っている地区があります。	河川環境整備、景観作物の作付け等、「えびす祭り」「えびすマラソン大会」や神社などの修復を通じた観光客誘致の強化による子どもから高齢者まで仲良く生活できるぬくもりのある里づくり	観光客誘致 景観作物(菜の花など)の作付け 河川の環境整備	「えびす祭り」「えびすマラソン大会」の情報発信の推進、神社の修復 荒地や休耕田の利用推進、採種油の利用推進、菜の花プロジェクトの推進 生活排水などの水質の改善、清掃運動への参加・参画の推進、三方張りの河川改修
	御所浦	ごみのポイ捨てに対する清掃活動が課題です。	ごみのポイ捨て防止の啓発と清掃活動の継続	環境意識を上げるための環境学習の実施	ごみへの意識改革と地区住民一体の清掃活動への参加の推進
	御所浦南	弁天島のアマクサミツバツツジ群生、恐竜の足跡の保全と有効活用が必要です。	弁天島のアマクサミツバツツジの群生や恐竜の足跡の保全と活用の推進	弁天島に自生しているアマクサミツバツツジや恐竜の足跡の保全と活用	栈橋などを含めた弁天島全体の保全の推進 荷揚げ場の整理
	牧島	地区の清掃活動は実施されているが、漁港海底にあるごみが気になる。ごみのポイ捨て防止に対する啓発が課題です。	ごみのポイ捨て防止と清掃活動の継続	地区の清掃活動の継続とごみのポイ捨て防止の徹底	ごみへの意識改革と地区住民一体の清掃活動への参加の推進
	御所浦北	地区ごとの伝統行事が継承され、歴史上の伝説が大切にされています。イノシシの被害対策が課題です。	歴史上の伝説の継承とイノシシ被害の改善	歴史上の伝説の継承 イノシシによる農作物被害の軽減	平家の落人伝説の継承 イノシシの侵入防止と捕獲対策などの強化
	嵐口	前島のアンモナイトやイノセラムスなどの化石群生地、恐竜化石の一大産地である白亜紀の壁など、資源の保全と有効活用が必要です。	前島の化石群生地、白亜紀の壁の保全とエコツーリズムとしての推進	前島の化石群生地、白亜紀の壁の保全と活用	化石など資源の情報発信の推進、ジオパークとしての受け入れ体制の構築
	中田	貝毒や赤潮などの発生防止対策、農業用水の確保とホタルが生息する河川の環境保全が必要です。	農業用水の確保、貝毒や赤潮などの発生の防止とホタルの保全	農業用水の確保 貝毒、赤潮の発生の未然防止 ホタルの生息環境の保全	上流域の森林の保全、ため池などの整備 調査・研究、発生防止の解明と取り組みの推進 ふれあい活動や観察会への参加の推進、生息環境の保全・修復
	宮南	農業用水の確保、赤潮等の発生防止、宮南半島のグリーン・ブルーツーリズムの推進が課題です。	ため池等による農業用水の確保、自然からの恵みを最大限に享受できる宮南半島エコツーリズムの推進	農業用水の確保 貝毒、赤潮の発生の未然防止 自然環境を生かしたエコツーリズムの活発化	上流域の森林の保全、ため池などの整備 調査・研究、発生防止の解明と取り組みの推進 宮南半島ツーリズム推進協議会を中心としたエコツーリズム活動の推進
	小宮地	河川・海域の水質向上と農村景観の維持が課題です。	森林の保全や河川域の清掃による河川・海域の水質の向上と、虫追い踊りなどを活用した住民や訪問客のための総合的な農村景観の維持の推進	河川の水質・水質の向上 農村景観の維持・向上	上流域の森林の保全等の流域一体となった河川環境への配慮の推進、森林の保全や河川域の清掃 虫追い踊り等を活用した「景観的観点」を加えたまちづくり活動の推進
	大多尾	海域の水質改善、藻場造成事業、海岸の漂着ごみや漂流ごみなどの除去活動、シオマネキの生息環境の保全が課題です。	環境改善(海域の水質改善、海岸の漂着ごみや漂流ごみ等の除去など)と環境創造(藻場造成、シオマネキの生息環境の保全など)の総合的な推進	海岸の漂着ごみや漂流ごみなどの除去の推進 藻場造成の推進 シオマネキの生息環境の保全	森林管理、不法投棄防止の徹底、漂着ごみ除去のボランティアへの参加の推進 現存・消滅藻場の把握、投石などによる藻場造成、水質・底質の改善 ふれあい活動や観察会への参加の推進、生息環境の保全・修復
大宮地	河川の水質向上による鮎・シロウオなどの水生生物の保全、環境情報の共有化が課題です。	鮎、シロウオなどの水生生物のための河川の水質向上や取り組みのための環境情報の共有化の推進	鮎、シロウオなどの水生生物の保全 環境情報の共有化の推進	生活などの排水の改善、河川環境の修復、ふれあい活動や観察会への参加の推進 環境情報の整備、情報の受発信の推進	
宮野河内	山間部の農地では、イノシシによる農作物の被害が甚大です。農地への侵入防止策とともに駆除や新たな取り組みが急務となっていますが、効果的な対策がないのが現状です。海域は、無人島である「産島」周囲に野生のイルカが生息する豊かな漁場であり、漁業が地域の基幹産業の一つになっています。しかし、生活排水などにより年々水質が悪化	イノシシによる農作物の被害防止と豊かな漁場環境を守る	イノシシの農作物被害防止 豊かな漁場環境の回復	イノシシ侵入防止と捕獲対策などの強化 各家庭による排水対策、水環境に対する住民への意識啓発 イルカウォッチングを通じたふれあい活動や観察会への参加の推進、住民生活と漁業との共生の施策検討	

グリーン ツーリズム・ブル ーツーリ ズムを中 心とした まちづくり	宮野河 内	し、水揚量も減少しています。平成20年、一部地域 で下水道(漁業集落排水施設)の供用開始も行わ れ、海への負担を軽減する取り組みも本格化してい るものの、下水道区域外や未接続の家庭からは以 前と同様に生活排水がそのまま流れ込んでおり、こ れからは、各家庭による排水対策や水環境に対す る住民への意識啓発などが大きな課題です。			
---	----------	--	--	--	--

4. 東シナ海ゾーン

まちづくり の方向	振興会	現況と課題	環境方針	目 標	方 策
歴史・景 観・文化 を活かし たまちづ くり	下田北	天然温泉と夕陽スポットなど観光資源を持っている ことから、住民にとって特に水環境、景観の保全に 対する意識を高く持つ必要があります。ボランティア による清掃、花壇管理などが実施されており、今後 も観光客を魅了する優れた自然環境の保全、街並 み、環境整備を図ることが求められています。	水環境(天然温泉)と一体となった観光資源・地域 資源の保全・活用による地域振興の実現	住民の水環境保全に対する意識のさらなる 向上 ----- 住民の景観保全に対する意識のさらなる向 上	地域が一体となった環境活動などを通じた環境 認識の啓発・向上の推進、観光客を魅了する環 境整備の推進 ----- 地域が一体となった環境活動などを通じた環境 認識の啓発・向上の推進、観光客を魅了する環 境整備の推進、ボランティアによる清掃、花壇管 理の継続
	下田南	特に大きな産業がなく高齢者が多い、本地区での 大きな課題は新たな産業の掘り起こしです。地区振 興会を中心に地区内でとれた魚介類・農産物を出 郷者に届ける宅配事業を始めました。今後の取り 組みとして、作物肥料について、コンポスト施設を整 備し、環境に配慮した作物を作ることで地区住民の 環境意識の向上と宅配先へは安心・安全な食物を 届けているというピーアールの意味も込め、今後も 推進していく予定です。	コンポストを利用した環境づくりと、地域特産品の 宅配事業などによる、地域循環型の環境づくりを 目指した地域振興	コンポスト処理施設の整備	伐採した雑草などの肥料化と供給先の確保
	高浜	高浜焼、白鶴浜海水浴場、特定希少動物のアカウ ミガメの産卵地など、地域資源があり住民にとって 特に水環境、景観の保全・改善に対する意識が高 く、地区全体での奉仕作業とは別に、白鶴浜の海岸 清掃にも取り組んでおり、今後も観光客を魅了する 優れた自然環境の保全、まちなみ、環境整備を図 ることが求められています。	日本の渚百選、特定希少動物のアカウミガメの産 卵地としての白鶴浜海水浴場の地域資源を活用 した地域振興の実現	白鶴浜海水浴場(アカウミガメ産卵地)の環境 保全と活用 ----- 白鶴浜海水浴場(日本の渚百選)の環境保 全	ふれあい活動や観察会への参加の推進、住民 生活や観光などとの共生の施策検討 ----- 白鶴浜の海岸清掃の継続と活用(高浜)
	大江	キリシタン文化を残す貴重な地区であり、これを利 用した地域活性化は重要で、地域の自然環境の改 善(特に水環境と周辺環境整備)は重要な課題で あり、住民が一体となった推進が不可欠です。	キリシタン文化(景観)の保全と水環境づくりによ る地域活性化の推進	大江天主堂を核としたキリシタン文化の保 全・活用 ----- 水環境の改善・保全に対する意識の向上	大江天主堂の世界遺産への登録活動の推進 ----- 地域が一体となった環境活動などを通じた環境 認識の啓発・向上の推進、観光客を魅了する環 境整備の推進
	富津	山間部では、増加し続けるイノシシによって水質悪 化が懸念されており、現在、EM 菌などによる海と川 の水質浄化活動を行っていますが、今後、高齢化 が進む中でなおいっそうの水質浄化活動と農地維 持を図ることが重要です。また、人口減少による生 活環境の悪化も考えられ、維持するためには地域 が一体的になった、新たな取り組みが必要になりま す。	歴史的財産である崎津天主堂と周辺景観を地域 住民の手で守り受け継ぎ、地域の環境意識の向 上を図る	各イベントによる地域活性化 環境保全のシンボルとしているホテルが生息 し続ける環境づくり	EM菌等の使用により生活排水などの改善によ る海と川の水質浄化活動への参加・参画の推 進、農地維持
	一町田	イノシシによる農作物の被害と、水資源の水質悪化 が危ぐされています。現在、電気牧柵などの導入や	イノシシによる農作物の被害防止と水資源の保全	イノシシの農作物被害防止	イノシシ侵入防止と捕獲対策等の強化

	一町田	地区共同の井戸ポーリングを利用した水道施設の整備などを行っていますが、渇水時期の飲用水確保まで至っていません。イノシシ駆除はもとより、水道施設の充実が必要です。		水資源の保全	河川上流域での耕作放棄地の管理、減農薬・減化学肥料、浄化槽の整備推進を行っていく
--	-----	--	--	--------	--

5. 海洋拠点ゾーン

まちづくりの方向	振興会	現況と課題	環境方針	目 標	方 策
海を活用したまちづくり	牛深	排水による水質汚染やごみの投棄が見られ、これらの改善が必要です。アカウミガメの産卵地の保全が求められており、ボランティアによる除草・海岸清掃活動が実施されています。	河川・海域の水質の改善によるアカウミガメの保全活動の推進	河川・海域などの水質の改善	生活系・事業系排水等の改善、清掃運動などへの参加・参画の推進
				ごみの不法投棄の防止	ごみへの意識改革、不法投棄防止の監視の徹底
				アカウミガメの産卵場の保全活動の継続	ふれあい活動や観察会への参加の推進、住民生活や観光などとの共生の施策検討
	久玉	道路の騒音振動、排水による水質汚染を改善したいとの要望があります。道路沿道の草刈り、空き地への花壇整備の継続が求められています。	大気環境の改善、河川・海域の水質の改善、地域の騒音振動・悪臭、地域の美化活動の継続の推進	大気環境の改善	事業所周辺の大気環境データの分析、事業所からの煤煙データの取得検討
				河川・海域などの水質の改善	生活系・事業系排水等の改善、清掃運動などへの参加・参画の推進
				地域の騒音振動、悪臭の改善	交通渋滞の解消施策の検討、事業所からの悪臭の観測
				地域の美化活動の継続	まちの美化に対する意識向上と地区活動への参加の推進
深海		合併浄化槽の設置、防波堤等の釣り場でのエサや道具の後始末、旧深海小学校・旧浅海小学校・旧下平分校のグラウンドの雑草管理、家庭ごみの自家焼却などを改善していく必要がある。自然の海岸線（下平～深海間、深海～浅海間）、下馬刀島周辺、長島海峡の野生イルカ、六郎次山付近のツルの飛行ルート、六郎次山周辺の原生林や眺望などを保全・活用していく必要があります。	排水浄化施設の設置の推進、自家焼却による悪臭防止、景観の保全・改善、自然の海岸線、野鳥・ツルの飛行ルートの保全・活用、野生イルカとの共生の推進	排水浄化施設の設置の推進	合併浄化槽の設置に対する補助金の活用
				自家焼却による悪臭防止	ごみへの意識改革
				景観の改善・保全の推進	防波堤等の釣り場でのエサや道具の後始末の啓発・監視の徹底、旧小学校などの管理責任の所在の明確化
				景観の保全の推進	六郎次山におけるエコツーリズムなどの検討
				自然の海岸線の保全・活用の推進	下平～深海間、深海～浅海間の「自然景観的観点」を加えたまちづくり活動の推進
				野鳥・ツルの飛行ルートの保全・活用の推進	六郎次山周辺の原生林におけるエコツーリズムなどの検討
野生イルカとの共生	ふれあい活動や観察会への参加の推進、住民生活や観光などとの共生の施策検討				
魚貫		池田池の汚れ、原因不明の霞がかかったような空、夕陽スポットでのごみの投棄、海草の減少などを改善したいとの要望があります。シャリンバイ、魚貫崎アコウの木、海水浴場、小川に生息しているメダカ、「南天の夕陽」、忠魂碑、遠見岳、見張番所跡、三日月瀬、伊勢エビ祭り、塩振り踊りなどを保全・活用していく必要があります。	地域の水環境改善、大気環境改善、悪臭改善、ポイ捨て防止、藻場造成の推進、また樹木、自然とのふれあいの場（海水浴場）、小川のメダカ、地域特有の景観、歴史・文化財の保全・活用を推進する	河川・海域などの水質の改善	生活系・事業系排水等の改善、清掃運動などへの参加・参画の推進
				大気環境の改善	事業所周辺の大気環境データの分析、事業所からの煤煙データの取得検討
				地域の騒音振動、悪臭の改善	交通渋滞の解消施策の検討、事業所からの悪臭の観測
				ポイ捨ての改善（夕陽スポット、道路沿い）	ごみへの意識改革と地区住民一体の清掃活動への参加の推進
				藻場造成の推進	現存・消滅藻場の把握、投石などによる藻場造成、水質・底質の改善
				シャリンバイ魚貫崎アコウの木の保全・活用	生育環境の改善・修復、ふれあい活動や観察会への参加の推進
				海水浴場の環境保全と活用	海岸清掃の継続、住民生活や観光などとの共生の施策検討

海を活用したまちづくり	魚貫			小川に生息しているメダカの保全・活用 「南天の夕陽」、遠見岳の景観の維持・向上 歴史・文化財の保全・活用の推進	ふれあい活動や観察会への参加の推進、住民生活との共生の施策検討、河川の清掃浄化 「景観的観点」を加えたまちづくり活動の推進 住民や観光客が満足できる歴史・文化財の整備・活用の推進
	二浦	道路沿いの空き缶のポイ捨て対策を検討する必要があります。絶滅危ぐ種のメダカ、ドジョウ、ホタルを保全・活用していく必要があります。	悪臭防止やポイ捨て防止の徹底と地域の水棲生物の保全	地域の悪臭の改善 ポイ捨ての改善(夕陽スポット、道路沿い) メダカ、ドジョウ、ホタルなどの保全の推進	交通渋滞の解消施策の検討、事業所からの悪臭の観測 ごみへの意識改革と地区住民が一体となった清掃活動への参加の推進 河川の浄化活動の推進、ふれあい活動や観察会への参加の推進

6. 下島中央山稜ゾーン

まちづくりの方向	振興会	現況と課題	環境方針	目 標	方 策
森に囲まれた里山のまちづくり	戸宇土	ごみの不法投棄などに対する住民意識の改善が必要です。イノシシ対策も課題となっています。	ごみの不法投棄防止対策や農地の効率的な活用による農業の振興とそれにとまなう雇用の創出	イノシシによる農作物への被害軽減 ダム周辺への不法投棄の防止の徹底 ポイ捨て防止の徹底	侵入防止と捕獲対策などの強化 ごみに対する意識改革と監視の強化 ポイ捨て防止の啓発と監視の強化
	本町	飲料水を地下水に依存している地域であるが、山林の管理不足による水源かんようとイノシシの増加に伴う水資源の汚染が心配されている。	山林や道路沿線の景観整備と人にやさしい農業の推進	美しい山風景に囲まれた誰もが住みたくなるような空間づくり	減農薬・減化学肥料による安全な作物づくりと、野の花・自然の花を増やし、道路沿いを整備
	宮地岳	きれいな川などの資源の保全や国道沿いのごみのポイ捨ての防止対策が必要です。耕作放棄地が少なく美しい景観が維持されています。	きれいな川、水資源の保全と国道沿いのポイ捨てに対する啓発	ごみのポイ捨て防止の徹底 きれいな川、水資源の保全	ごみのポイ捨て防止の啓発と監視の強化 土着菌を活用した無農薬野菜等の生産などにより土壌への負担を減らし、水資源の汚染を防ぐ
	碓石	山林の間伐の実施、耕作放棄地の解消、水資源環境の改善、カスミサンショウウオが生息する多様性のある自然環境の保全が必要です。	森林環境の整備、耕作放棄地の解消、水資源環境の改善、カスミサンショウウオが生息環境の確保・保全	森林環境の整備 耕作放棄地の解消 水資源環境の改善 カスミサンショウウオが生息する自然環境の確保	間伐の実施、エコツーリズムの推進、環境教育・学習などとの連携 環境保全グループと地域住民による解消への取り組み 生活などの排水・森林環境の改善、河川清掃活動の推進 観察会への参加の推進など、環境学習の質を高める
	福連木	官山を中心とした自然環境保全に力を入れ、地域の特性をいかした地域振興が必要です。地域ボランティア環境活動は、ボランティアの高齢化が進み、その継続が課題となっています。また、地域特産品の開発も重要で、現在の「子守唄まんじゅう」に次ぐ地域資源をいかした特産品開発にも力を入れていく予定です。	官山の原生林の保全への人材育成と、地域が一体となった取り組みや特産品の開発による地域振興の実現	「官山」における環境保全と地域振興の実現 人材育成と地域が一体となった取り組み 特産品の開発の推進	「官山」におけるエコツーリズムの仕組みの構築 人材育成と地域内連携の強化 消費者動向の調査、販売ルート確保、高付加価値品の開発、安心・安全の提供
	新合	河川への生活排水の放流について地域ぐるみできれいにして流すよう心掛けており、ホタルが生息しています。中山間地の農地ではおいしい米が収穫されますが、イノシシによる被害が発生しており、損害も甚大です。	中山間地特有のおいしいお米作りと伝統文化の継承	イノシシによる農作物への被害軽減 農作物の地産地消の推進	イノシシの捕獲対策と肉の商品開発 地元の作物を直販所で販売